

目 次

- ◆生活・総合がわかれば教育がわかる……………倉澤 達雄 1

新会長所信論文

- ◆旧弊にとらわれず、旧態に安住せず、進取に境地を開く……………嶋野 道弘 4

特集Ⅰ 「学力低下」論争と生活科・総合的学習

- ◆「学力低下」論争のなかで生活科・総合的な学習再構築の方向を考える……………日台 利夫 8
- ◆豊かな学力の防衛……………奈須 正裕 16
- ◆次期学習指導要領改訂に向けての1提案……………野田 敦敬 24
—自分自身への気づきを生活科で養う学力の中核に—
- ◆子どもたちに自己コントロール能力とコミュニケーション能力を形成することの必要性
……………藤井 千春 32

特集Ⅱ 協同性が高まる学び

- ◆子ども達の学び合いと気づき……………内藤 博愛 40
—第2学年「秋にアサガオを育てよう」の事例を通して—
- ◆認め合い学び合い高め合える集団を目指して……………長坂 寿子 48
—みんなで育ちの共有化を図り、素敵な生き方までも気づくために—

自由稿

- ◆就学前教育と小学校間の段差低減化及び交流、連携に果たす生活科の役割……………藤田 静作 56
—秋田県下の小学校を対象とした悉皆調査を基にして—
- ◆受講生に実践的力を付けるための大学における生活科授業の探究……………木村 吉彦 64
—「授業参観」と「振り返り」を中核にした「生活科指導法」の検証—
- ◆ドイツ・バーデン=ヴュルテンベルク州における「事実教授」の新展……………久野弘幸・前畑朱里 72
—新教科“人間-自然-文化”の内容編成論と“自分自身への気づき”の分析を中心として—

- ◆ 学び方の体得を図る「よていひょう」の段階的活用……………松本謙一・長井登志美 80
—生活科6単元における子どもの変容から—
- ◆ 子どもの「知りたい、明らかにしたい」で展開する活動と、教師の支え……………櫻井 眞治 88
—「伝通院が小さくなったのは、なぜか？」(三年生)の追究を通して—

私たちの保育実践研究

- ◆ 幼児期に育つ学びの基盤について考える……………梅木 恵子 96
—5歳児の遊びを通して—

私の授業づくり

- ◆ 子どもと共に追究する総合的な学習を目指して……………高貫 純一 100
—地域の歴史的な素材の教材開発を通して—
- ◆ 「総合的な学習」で見つけた学び……………田島 隆一 104
—3年生(郷土学習)「郷土に生かす、つくる」—

研究奨励賞受賞研究

- ◆ 学びたくなる総合的な学習の時間……………小玉 容子 108
出会いと感動が学びの力を育んだ3年間の記録—平成13~15年度の実践より—
- ◆ 生活科・総合的な学習の存在意義……………木村 吉彦 109
—全人的な学力観を前提にして—

日本生活科・総合的学習教育学会会則……………	110
日本生活科・総合的学習教育学会第5期役員・理事……………	111
学会だより……………	112
学会誌編集委員会投稿および編集規定……………	113
編集後記……………	114

表紙写真 高貫純一「私の授業づくり 子どもと共に追究する
総合的な学習を目指して」より